

・公共交通利用促進に向けての取り組み～佐賀大学スクールバスの試験運行～
・都市計画サロンのご報告

1. 佐賀大学スクールバスの試験運行実施

佐賀大学は、佐賀市交通局と協同して2013年1月7日から同年2月14日に佐賀市の本庄キャンパスとJR佐賀駅間でスクールバスの試験運行を実施しました。佐賀大学では学生の約40%が福岡県から通学しているため、大学周辺のバス路線は学生らの利用が多いものの、JR到着時刻との接続の悪さや最終便の時刻の早さなどを理由として、学生や教職員から利便性の向上を求める声が上がっていました。

現在のところ、佐賀駅と佐賀大学本庄キャンパス間は、路線バスが1日往復83便(平日)運行していますが、利便性の向上と利用者の増加を図るため、この通常路線とは別に直行便のスクールバスを佐賀駅から7便(行き)、大学から5便(帰り)運行しました。この発着時刻は大学の始業・終業やJRダイヤを考慮して設定し、バス停はキャンパス構内の3カ所とキャンパス周辺の停留所2カ所の計5カ所のみを設置しました。路線バスの運賃は190円ですが、学生の要望をもとにスクールバスでは片道100円と約半額に引き下げました。



図1 配布したチラシ

周知活動としては、チラシの配布や学内メールの利用、ポスター・横断幕の設置等を行いました。実施期間前半は利用率が芳しくありませんでした。しかし後半になると利用率は徐々に増加し、最終的に利用延人数は2,576人となりました。バスの学内通過に対し、自転車との接触事故など安全面を危



写真1 スクールバスと学内停留所

惧する声もありましたが、バスによって逆に学生の交通・駐輪マナーが徐々に向上していったことが印象的でした。

現在は、運行前後でのバス利用率の変化や交通行動の転換率、求められるサービス水準等を調査しており、本格導入に向けた検討を進めています。

2. 都市計画サロンのご報告

日時：平成25年2月15日(金) 16:30～18:00

題目：「福岡天神のこれからの舟運と水辺を考える」

①研究会報告：長 聡子氏

(新潟工科大学/舟運研究会代表)

②パネルディスカッション

パネラー：福岡県県土整備部

ベルクルーズふくおか

We Love 天神協議会

コーディネーター：長 聡子氏(同上)

九州支部平成22年度新規研究分科会に採択された「河川空間の利用と都市機能との連携に関する研究分科会」(舟運研究会)の主催により、2年間の成果報告とパネルディスカッションが行われました。福岡天神の舟運の発展と水辺の活性化を推進するために、事業者、行政、まちづくり団体からそれぞれご報告いただき、問題点の解決策や相互の連携について活発な議論が行われました。

(文責：幹事 木梨真知子(佐賀大学)・小林祐司(大分大学))



写真2 都市計画サロンの様子